

令和5年度第2回下田市総合計画外部評価委員会 議事録

日時：令和5年10月12日（木）

13：53～15：53

場所：下田市役所2階 大会議室

1 開会

2 挨拶（委員長）

3 議事

（1）外部評価及び意見の確認

第5次下田市総合計画外部評価結果（令和4年度評価）に基づき、内部評価と異なる外部評価について確認した。外部評価委員から評価の理由について説明があり、他の委員と協議のうえ外部評価委員会としての評価を出した。外部評価については別紙参照。外部評価の理由及び意見は以下のとおり。

【外部評価の理由・意見】

p 2 分野1 自然環境・生活環境

施策1-1 主な取組：海岸・河川の愛護活動の促進

内部評価A → 外部評価B

〈理由・意見〉県補助金の配布のみでA評価はどうか。記載されていない取組もあるため。

p 2 分野1 自然環境・生活環境

施策1-1 主な取組：海岸漂着物等の円滑な処理、発生の抑制に係る関係者の連携強化

内部評価A → 外部評価B

〈理由・意見〉どういう連携をしたかが記載されていない。他にも夏期対策やライフセービングクラブの実施しているペットボトル回収等の取組はある。説得力のある内容を書くべき。ごみ拾いの際、海にたくさんのごみが流れ着いているのを見ている。アクションがないとA評価は厳しい。

p 4 分野1 自然環境・生活環境

施策3-1 主な取組：プラスチックごみの排出抑制と海洋への流出を防止する6Rの普及

内部評価B → 外部評価B

〈理由・意見〉広報だけでB評価でいいのか。「普及」と「啓発」は意味が違う。広報活動で周知されたか結果をつかむのは難しいが、普及には色々なやり方があるので。実績をきちんと書くべき。

p 6 分野1 自然環境・生活環境

施策5-1 主な取組：将来を見据えた住宅供給の必要性の検討

内部評価C → 外部評価A

〈理由・意見〉取組は必要性の検討であり、評価の根拠に「検討を実施済み」とあるためA評価とする。

p 7 分野 1 自然環境・生活環境

施策 5-3 主な取組：静岡県グリーンバンクなどの事業を活用した緑化の推進

内部評価 A → 外部評価 B

〈理由・意見〉緑化の推進と花いっぱい運動の違いがわからない。緑化の推進に花いっぱい運動が入って良いのか。苗木の配布も花いっぱい運動に入るのか。花の種の配布のみで A 評価はどうか。

p 9 分野 2 子育て・教育

施策 1-1 主な取組：不妊治療及び不育症に対する支援

■内部評価 A → 外部評価 B

〈理由・意見〉どのくらい進んでいるのかわからない。課題

にも「思い違いが生じている可能性がある」との記述があることから、補助金制度の周知が不十分なのではないか。

p 15 分野 3 観光・産業・雇用・移住促進

施策 1-2 主な取組：おもてなし人材育成の強化

■内部評価 A → 外部評価 A

〈理由・意見〉今まで実施してきたガイドを実施しているのみで A 評価はどうかとの意見もでたが、一般の人たちへの周知は厳しいが、ホテル等では頑張っている。これからはインバウンドの時代なので、世界を理解した観光、インバウンド受け入れる体制をしっかりしてほしい。

p 15 分野 3 観光・産業・雇用・移住促進

施策 1-2 主な取組：マイクロツーリズムに向けた地域資源の掘り起こし

■内部評価 A → 外部評価 A

〈理由・意見〉地域資源の掘り起こしとして、近場の人たちも来るような地域住民への PR をしてほしい。

p 16 分野 3 観光・産業・雇用・移住促進

施策 1-4 主な取組：個人旅行やアウトドア趣向に対応した観光メニューの強化

■内部評価 A → 外部評価 B

〈理由・意見〉インバウンド観光客は令和 4 年度はまだコロナ禍なので矛盾しているのでは。「強化」というと内容がないといけないと思う。

p 19 分野 3 観光・産業・雇用・移住促進

施策 6-1 主な取組：ワーケーション拠点施設・コワーキングスペースの利用促進

■内部評価 B → 外部評価 D

〈理由・意見〉目標値を超えているが稼働率が低い。

旧樋村医院ではなく正しい名称（Work×ation Site 伊豆下田）で書くべき。
市内 3 箇所の（Work×ation Site 伊豆下田、LAC、まちなかワークスポット）
の合計利用数は 1,528 人。368 人は Work×ation Site 伊豆下田の利用者数。
今後の課題を記載してほしい。

p 23 分野 4 都市基盤整備

施策 3-2 主な取組：地域特性や観光需要に対応した交通体系の構築

■内部評価 A → 外部評価 B

〈理由・意見〉伊豆 Navi に補助金を支出することで A 評価とするのはどうか。電子決済システムで乗り物に乗車、スマホ予約でお店を利用する等のモデル事業を実施したが、

交通体系の構築はされたのか疑問がある。

p 28 分野 5 危機管理

施策 2-2 主な取組：住宅用火災警報器の設置促進

■内部評価B → 外部評価C

〈理由・意見〉全国・県平均を下回っているためC評価とする。

p 28 分野 5 都市基盤整備

施策 2-2 主な取組：感震ブレーカーの設置促進

■内部評価B → 外部評価C

〈理由・意見〉利用者が減少しているが、補助金の制度としては実施していることからC評価とする。

p 32 分野 6 健康・福祉

施策 1-3 主な取組：食育教育の実施

■内部評価A → 外部評価C

〈理由・意見〉「小学生対象の講座はコロナ感染拡大のため、中止となった」とあるため。小学生が中止だと全体の半分程度の実施になるため、C評価が妥当と判断。

(2) 外部評価結果報告書（案）について

外部評価結果報告書（案）の内容について確認し、一部修正することとした。また、委員からは以下の意見があった。別紙として議論した内容、意見を追加する。意見を基に報告書（案）を修正し、各委員に確認・承認していただき、市長宛てで稟議後、市ホームページに公表する。

【意見】

- ・評価の根拠として、数値目標がどこの取組に一致しているのか、達成率（%）が評価調書に記載されてるとわかりやすい。
- ・評価の仕方が、10年後の目標を捉えて評価しているのか。
- ・評価の根拠が理解しやすいようにきちん記載してほしい。
- ・分野3「ワーケーション関係施設利用者数」の令和7年度目標値は「450人」となっているが、Work×ation Site 伊豆下田整備後（令和3年7月）は目標値を見直す必要があるのでは。
- ・委託しているところに目標値を設定するのはどうなのか。

4 その他

○委員からの意見

- ・民間はどうしても数値で評価する。
- ・数値目標を設定し、評価できるものとできないものがある。
- ・他の自治体で評価を〇%と数値で評価しているところがあるので確認してほしい。
- ・毎年この評価でなくても良いのでは。

5 閉会